

藤倉夕張市長が本会を表敬訪問



～地元の評価、期待高まる。できるだけ支援を約束～

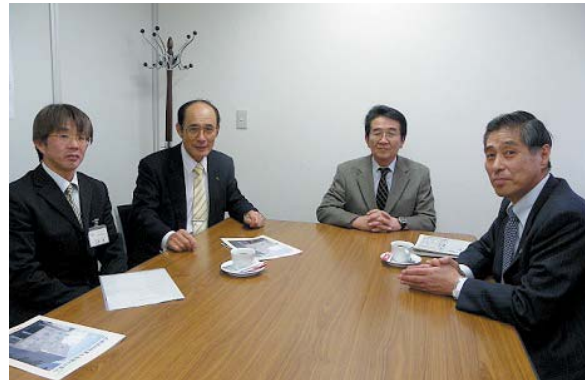
平成22年11月4日午後 夕張市の藤倉市長、三浦護総括主幹が本会を表敬訪問され、加藤会長、土井企画開発部長と懇談しました。

藤倉市長は新会館に初めての訪問で、加藤会長から各階の設備の説明を興味深く聞いておられました。当日、2階研修室では37名の会員が参加し、インターネット配信の全国研修会が行われていました。

市長は「行政書士の皆さんには夕張支援を3年間やっていただいた。行政書士の皆さんのお手伝いにより確定申告時期の手続きはスムーズに行われ、また市民の方にも行政書士会の支援事業が認知され大変感謝している。是非、来年2月・3月の確定申告受付業務や入札参加資格審査業務に引き続きご支援をお願いしたい。」旨の要望を受けました。

加藤会長からは「本州自治体からの派遣職員が引揚げる状況の下、行政とパイプ役である行政書士として、夕張市や市民の苦境を見逃す訳にはいかない。会員の中からボランティアを募り、今後も出来るだけの支援を行いたい。」と回答しました。

本会が3年前からの社会貢献事業活動の一環として取り組んでいる夕張支援は、来年は4年目を迎えて、地域住民に高く評価、期待される事業になりました。



左より：三浦総括主幹・藤倉市長
土井企画開発部長・加藤会長